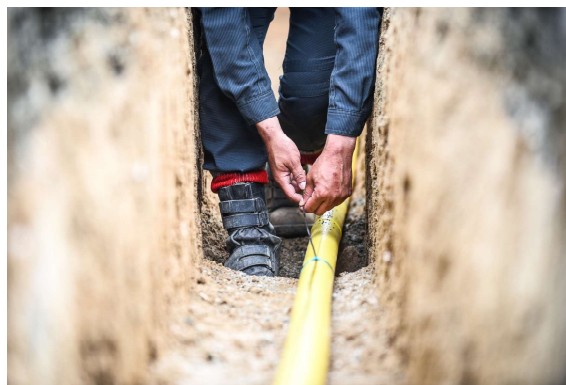




環境経営レポート

2025 年度

(2025 年 2 月～2026 年 1 月)



2026 年 4 月 7 日



西光建設株式会社

目次

I. 取組の対象組織・活動P1
II. 実施体制P2
III. 経営理念・環境経営方針P3
IV. 環境経営目標P4
V. 環境経営活動計画P5~6
VI. 環境経営目標の達成状況と環境経営活動計画の実施状況、その評価 結果及び次年度の取組内容P7~12
VII. 次年度の環境経営目標及び環境経営活動計画P13
VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、 訴訟等の有無P14
IX. 代表者による全体評価と見直しの結果P14
X. その他の取組P15~19

I. 取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

西光建設 株式会社
代表取締役 高丘 利勝



(2) 本社所在地

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出6丁目2番18号

(3) 関連事業所

資材置場 福岡県福岡市博多区吉塚7丁目316番

(4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役総務部長 瀧下 均
担当者 総務部 課長 塚本 健史
担当者 総務部 永井 貴也
TEL : 092-621-3132
FAX : 092-611-5857
E-mail : tsukamoto.k@saikou3150.com

(5) 事業内容

土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、水道施設工事業

(6) 事業の規模

事業年度 6月～翌年5月

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高 (百万円)	3,008	3,375	3,411
従業員 (名)	98	97	97
本社敷地面積 (㎡)	3,467	3,467	3,467
資材置場敷地面積 (㎡)	3,819	3,819	3,819

(7) エコアクション21活動年度

2月～翌年1月

2. 認証・登録の対象組織・活動

(1) 対象組織

本社、資材置場

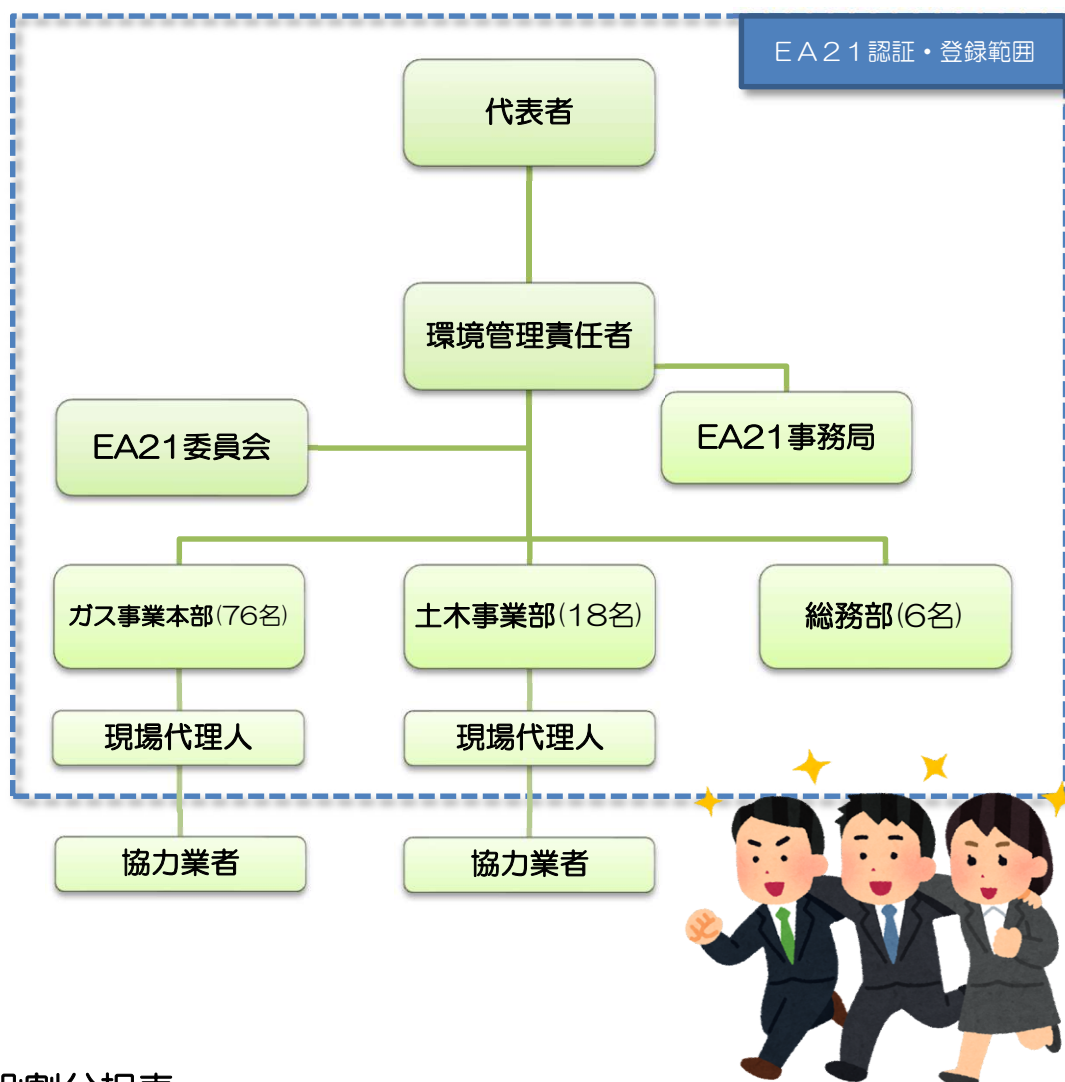
(2) 対象活動

土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
舗装工事業、水道施設工事業



Ⅱ. 実施体制

・当社のエコアクション21実施体制は、以下の通りです。



役割分担表

	役割・責任・権限
代表者	全体統括、環境経営方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し、経営における課題とチャンスの整理と明確化、環境管理責任者・EA21委員会・EA21事務局の選任。
環境管理責任者	環境経営システムを構築し、運用し、その状況を代表者に報告する。
EA21委員会	3ヶ月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実行状況を審議する。また、問題点が発生した場合は、必要な是正処置を検討する。
EA21事務局	環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録書類の作成、維持、管理を行う。
部長・次長	環境経営方針、自部の環境経営目標・環境経営活動計画を部全員に周知し、取組状況を環境管理責任者に報告する。
現場代理人	環境経営方針、自部の環境経営目標・環境経営活動計画を現場従業員、協力業者に周知・指示し、現場での環境活動の状況を部長に報告する。
全従業員	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

Ⅲ. 経営理念・環境経営方針

経営理念

私たちは
日々の仕事に「感謝」し
一人ひとりが「安全と品質の確保」に努め
すべてのお客様に「安心と信頼」を提供し
全てのお客様に選ばれる会社を目指します。

環境経営方針

1. 事業活動における環境関連の法規・条例及び環境に配慮した工事基準を遵守します。
2. 事業活動における環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に継続的改善を行い、重点的に取り組みます。
 - ① CO₂排出量の削減
 - ② 省資源と廃棄物の発生抑制
 - ③ 水資源使用量の削減
 - ④ グリーン購入の推進、循環型社会の形成への貢献
 - ⑤ 本業である建設工事施工における現場周辺地域での環境保全活動
3. この方針を全社員に周知徹底し、自主的・積極的に環境保全に取り組む意思の向上に努めます。

制定日：平成22年9月14日

改定日：平成31年4月18日

西光建設 株式会社

代表取締役社長 高丘 利勝

IV. 環境経営目標

・当社の環境経営目標は、大きく「本社及びガス事業本部 現場」と「土木事業部 現場」に事業区分して、各サイト別に単年度及び中長期の数値目標を以下の通り設定した。

環境経営目標	サイト	単位	基準値	中長期目標				
			2022年度 (2022年2月 ~2023年1月)	2023年度 (2023年2月 ~2024年1月)	2024年度 (2024年2月 ~2025年1月)	2025年度 (2025年2月 ~2026年1月)		
本社+ ガス事業本部 現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	212,768	211,705 以下 (△0.5%)	210,642 以下 (△1.0%)	209,577 以下 (△1.5%)	
		電気使用量の削減	kWh	77,237	76,851 以下 (△0.5%)	76,464 以下 (△1.0%)	76,078 以下 (△1.5%)	
		ガソリン使用量の削減	L	30,869	30,716 以下 (△0.5%)	30,561 以下 (△1.0%)	30,406 以下 (△1.5%)	
		軽油使用量の削減	L	18,450	18,358 以下 (△0.5%)	18,266 以下 (△1.0%)	18,174 以下 (△1.5%)	
		都市ガス使用量の削減	N m ³	22,765	22,651 以下 (△0.5%)	22,538 以下 (△1.0%)	22,423 以下 (△1.5%)	
	2	廃棄物排出量の削減	t	14,204	14,204 以下	14,204 以下	14,204 以下	
	3	水使用量の削減	m ³	1,836	1,836 以下	1,836 以下	1,836 以下	
	4	グリーン購入の推進	品目	11	11	11	11	
	5	工事現場での清掃活動の実施	件 (清掃に関する苦情件数)	0	0	0	0	
	土木事業部 現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	9,924	9,874 以下 (△0.5%)	9,824 以下 (△1.0%)	9,775 以下 (△1.5%)
電気使用量の削減			kWh	10,921	10,866 以下 (△0.5%)	10,811 以下 (△1.0%)	10,757 以下 (△1.5%)	
ガソリン・軽油使用量の削減			L	2,018	2,007 以下 (△0.5%)	1,997 以下 (△1.0%)	1,987 以下 (△1.5%)	
2		廃棄物排出量の削減	①可燃ごみの削減	kg	36	36 以下	36 以下	36 以下
			②廃棄物量のリサイクル率90%以上	%	100	90 以上	90 以上	90 以上
3		水使用量の削減	m ³	177	177 以下	177 以下	177 以下	
4		グリーン購入の推進	品目	11	11	11	11	
5	工事現場での清掃活動の実施	件 (清掃に関する苦情件数)	0	0	0	0		

備考

※中長期目標は3年毎に設定している。

※電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度調整後排出係数(九州電力(株)0.480kg-CO₂/kWh・西部ガス(株)0.530kg-CO₂/kWh)を使用した。

※二酸化炭素排出量以外の目標値は現状維持を目標としているため基準値以下を目標値とした。

※化学物質は使用していないので、目標から除外した。

単年度目標

V. 環境経営活動計画

・当社の環境経営活動計画は以下の通りです。

<本社+ガス事業本部 現場>

1. 二酸化炭素排出量の1.5%削減

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 電気使用量の1.5%削減	本社	土木事業部	1 不要な照明をこまめに消灯する	総務部
			2 不要な場合はテレビ・パソコンを消す	
2 ガソリン・軽油使用量の1.5%削減	本社 + ガス事業部 現場	ガス事業部	1 急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	総務部
			2 アイドリングストップ手順を決め、実行する	
3 都市ガス使用量の1.5%削減	本社	総務部	1 不要な空調を消す	総務部
			2 空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行する	
			3 不要時のガスコンロの消火	
4 省エネルギー機器の活用	本社	ガス事業部	1 エネファームの活用	総務部

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者	
1 可燃ごみの削減 基準値13.2 t 以下	本社 + ガス事業部 現場	ガス事業部	1 ミスコピーの削減	土木事業部	
			2 コピー裏紙の再利用		
		総務部	3 ムダな郵便物を受け取らない		総務部
			4 ごみ分別の徹底		
2 ガス管材料廃棄量の削減 基準値11.6 t 以下	ガス事業部 現場	ガス事業部	1 ガス管廃棄量の把握	総務部	

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 節水活動	本社	ガス事業部	1 節水活動ポスターの掲示	総務部
			2 自家用車洗車の有料制	
			3 元栓を絞る	
			4 自動水洗の使用	

4. グリーン購入の推進（11品目）

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 グリーン購入の推進	本社 + ガス事業部 現場	総務部	1 詰め替え用ペンの購入・使用	総務部
			2 充電式電池の購入・使用	
			3 再生骨材の購入・使用	
			4 環境配慮型冷蔵庫の購入・使用	
			5 環境配慮型消火器の購入・使用	
			6 ハイブリット車の購入・使用	
			7 環境配慮型パソコンの購入・使用	
			8 リサイクル軍手の購入・使用	
			9 環境配慮型複合機の購入・使用	
			10 環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	
			11 FSC認証制度対応の名刺の購入・使用	

5. 工事現場での清掃活動の実施（清掃に関する苦情件数0件）

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 工事現場での清掃活動の実施	ガス事業部 現場	ガス事業部	1 工事後の散水清掃の徹底	ガス事業部

< 土木事業部 現場 >

1. 二酸化炭素排出量の1.5%削減

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 電気使用量の1.5%削減	土木事業部 現場	土木事業部	1 不要な照明をこまめに消灯する	所長
			2 不要な場合はテレビ・パソコンを消す	
			3 不要な空調を消す	
			4 空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行する	
2 ガソリン・軽油使用量の1.5%削減	土木事業部 現場	土木事業部	1 急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	主任
			2 アイドリングストップ手順を決め、実行する	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 可燃ごみの削減	土木事業部 現場	土木事業部	1 ミスコピーの削減	所長
			2 コピー裏紙の再利用	
2 産業廃棄物リサイクル率90%以上	土木事業部 現場	土木事業部	1 産業廃棄物のリサイクル	主任

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 節水活動	土木事業部 現場	土木事業部	1 節水活動ポスターの掲示	所長
			2 漏水検査を行う	
			3 元栓を絞る	

4. グリーン購入の推進（11品目）

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 グリーン購入の推進	土木事業部 現場	土木事業部	1 詰め替え用ペンの購入・使用	主任
			2 充電式電池の購入・使用	
			3 再生骨材の購入・使用	
			4 針なしホッチキスの購入・使用	
			5 環境配慮型消火器の使用	
			6 環境に配慮したトイレトーパーの購入・使用	
			7 環境に配慮したヘルメットの購入・使用	
			8 リサイクル軍手の購入・使用	
			9 環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	
			10 環境配慮型パソコンの購入・使用	
			11 FSC認証制度対応の名刺の購入・使用	

5. 工事現場での清掃活動の実施（清掃に関する苦情件数0件）

取組目標	サイト	責任者	活動項目	担当者
1 工事現場での清掃活動の実施	土木事業部 現場	土木事業部	1 週に一回の現場事務所付近道路の清掃活動	主任
			2 現場の散水清掃の徹底	

VI. 環境経営目標の達成状況と環境経営活動計画の実施状況、その評価 結果及び次年度の取組内容

・2025 年度における環境経営目標の達成状況と環境経営活動計画の実施状況は以下の通りであった。

＜本社＋ガス事業本部 現場＞

- ・本社＋ガス事業本部現場については、環境経営目標は水使用量の削減が目標未達成。残り 4 項目は目標達成できた。取組目標では軽油使用量、可燃ごみ、水使用量の削減が目標未達成。目標未達成の原因は現在の取組が限界に達しつつあることと、シャワー室改修・増設とトイレの衛生確保のための小便器水流量増加のため。
- ・次に環境経営活動の実施状況に関して、熱中症対策で空調温度設定を一時的に緩和したため判定不可とした。

【達成・実施状況の判定 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定できない、該当しない】

1. 二酸化炭素排出量の 1.5%削減



1.1 環境経営目標の達成状況と評価

	目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	二酸化炭素排出量の 1.5%削減	kg-CO ₂	209,577	196,616	○	二酸化炭素排出量は目標達成。軽油使用量の削減が目標未達成。原因は現在の取組が限界に達しつつあるため。次期は自動車のハイブリット化を検討して目標達成を目指す。
取組目標	電気使用量の 1.5%削減	kWh	76,078	72,841	○	
	ガソリン使用量の 1.5%削減	L	30,406	26,553	○	
	軽油使用量の 1.5%削減	L	18,174	19,463	×	
	都市ガス使用量の 1.5%削減	Nm ³	22,423	19,738	○	

1.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
電気使用量削減	不要な照明をこまめに消灯する	○	熱中症対策で夏場はエアコン設定温度を緩和した。その他は 1 年を通して順調に取り組んでいた。8 月～9 月にかけて一部都市ガス空調の故障があり、全体的な都市ガス空調の更新を検討する。
	不要な場合はテレビ・パソコンを消す	○	
ガソリン・軽油 使用量削減	急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	○	
	アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	
都市ガス 使用量削減	不要な空調を消す	○	
	空調の温度設定を冷房 26℃暖房 22℃とし、実行する	ー	
	不要時のガスコンロの消火	○	
省エネルギー機器の活用	エネファームの活用	○	

2. 廃棄物排出量の削減



2.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標 廃棄物排出量の削減	t	14,204	11,899	○	可燃ごみ削減が目標未達成。原因は現在の取組が限界に達しつつあるため。次期は達成したい。
取組目標 可燃ごみの削減	t	13.2	18.2	×	
ガス管材料廃棄量の削減	t	11.6	7.8	○	

2.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
可燃ごみの削減	ミスコピーの削減	○	順調に実施されていた。今後も継続していきたい。
	コピー裏紙の再利用	○	
	ムダな郵便物を受け取らない	○	
	ごみ分別の徹底	○	
ガス管材料廃棄量の削減	ガス管廃棄量の把握	○	

3. 水使用量の削減



3.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標 水使用量の削減	m ³	1,836	1,978	×	目標未達成。原因はシャワー室を改修し増設したため水使用量が増えたこととトイレの衛生を保つため小便器の水の流す量を増やしたため。次期は様子を見ることとする。

3.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
節水活動	節水活動ポスターの掲示	○	順調に実施されていた。今後も継続していきたい。
	自家用車洗車の有料制	○	
	元栓を絞る	○	
	自動水洗の使用	○	



4. グリーン購入の推進

4.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標		目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	グリーン購入の推進	11(品目)	11	○	1年を通して順調に取り組んでいた。来期も継続する。

4.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
グリーン購入の推進	詰め替え用ペンの購入・使用	○	年間を通し順調に使用していた。今後も使用を継続していく。
	充電式電池の購入・使用	○	
	再生骨材の購入・使用	○	
	環境配慮型冷蔵庫の購入・使用	○	
	環境配慮型消火器の購入・使用	○	
	ハイブリット車の購入・使用	○	
	環境配慮型パソコンの購入・使用	○	
	リサイクル軍手の購入・使用	○	
	環境配慮型複合機の購入・使用	○	
	環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	○	
	FSC 認証制度対応の名刺の購入・使用	○	

5. 工事現場での清掃活動の実施（ガス事業本部 現場）



5.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標		目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	工事現場での清掃活動の実施	清掃に関する苦情件数 0(件)	0	○	1年を通して目標達成。次期も達成を目指す。

5.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
工事現場の清掃活動の実施	工事後の散水清掃の徹底	○	順調に取り組んでいた。来期も継続していく。

＜土木事業部 現場＞

・土木事業部現場については、環境経営目標では二酸化炭素排出量、廃棄物量の削減のうち可燃ごみの削減が目標未達成。他の4項目は達成出来た。取組目標としては電気使用量の削減とガソリン・軽油使用量の削減が目標未達成。原因は動力で電気を多く使う現場があったこととB5軽油燃料を会社負担としたため。

【達成・実施状況の判定 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定できない、該当しない】

1. 二酸化炭素排出量の1.5%削減



1.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組	
環境経営目標	二酸化炭素排出量の1.5%削減	kg-CO ₂	9,775	13,977	×	二酸化炭素排出量削減、電気使用量削減、ガソリン・軽油使用量の削減は目標未達成。原因は動力で電気を多く使う現場があったこととB5軽油燃料を会社負担としたため。次期は様子を見ながら目標達成を目指す。
取組目標	電気使用量の1.5%削減	kWh	10,757	18,942	×	
	ガソリン・軽油使用量の1.5%削減	L	1,987	2,035	×	

1.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
電気使用量削減	不要な照明をこまめに消灯する	○	年間を通じて順調に取り組めた。このまま継続していきたい。
	不要な場合はテレビ・パソコンを消す	○	
	不要な空調を消す	○	
	空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行する	○	
ガソリン・軽油使用量削減	急発進・急加速をしないエコドライブを実践する	○	
	アイドリングストップ手順を決め、実行する	○	



2. 廃棄物排出量の削減

2.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標					
① 可燃ごみの削減	kg	36	46	×	産業廃棄物のリサイクル率90%以上は目標達成。可燃ごみの削減は目標未達成。原因は基準年と比べ現場稼働数が多かったため。次期は目標達成を目指す。
② 産業廃棄物のリサイクル率90%以上	%	リサイクル率90%以上	99.53%	○	

2.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
可燃ごみの削減	ミスコピーの削減	○	年間を通し順調に取り組めた。このまま取組を継続していきたい。
	コピー裏紙の再利用	○	
産業廃棄物のリサイクル率90%以上	産業廃棄物のリサイクル	○	

3. 水使用量の削減



3.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標	単位	目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標					
水使用量の削減	m ³	177	11	○	目標達成。来期も目標達成を目指す。

3.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
節水活動	節水活動ポスターの掲示	○	水を使用しなかった時期が多かったが、水の使用があった時は順調に取り組めた。このまま取組を継続していきたい。
	漏水検査を行う	○	
	元栓を絞る	○	



4. グリーン購入の推進

4.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標		目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	グリーン購入の推進	11(品目)	11	○	順調に使用していた。今後も継続して使用していく。

4.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
グリーン購入の推進	詰め替え用ペンの購入・使用	○	年間を通し順調に使用していた。今後も使用を継続していく。
	充電式電池の購入・使用	○	
	再生骨材の購入・使用	○	
	針なしホッチキスの購入・使用	○	
	環境配慮型消火器の購入・使用	○	
	環境に配慮したトイレットペーパーの購入・使用	○	
	環境に配慮したヘルメットの購入・使用	○	
	リサイクル軍手の購入・使用	○	
	環境に配慮したコピー用紙の購入・使用	○	
	環境配慮型パソコンの購入・使用	○	
	FSC 認証制度対応の名刺の購入・使用	○	

5. 工事現場の清掃活動の実施



5.1 環境経営目標の達成状況と評価

目標		目標値	実績値	達成状況	評価・次年度の取組
環境経営目標	工事現場の清掃活動の実施	清掃に関する苦情件数 0(件)	0	○	順調に取り組めた。今後も取組を続けたい。

5.2 環境経営活動計画の実施状況と評価

取組目標	活動項目	実施状況	評価・次年度の取組
工事現場での清掃活動の実施	週に一回の事業所付近清掃活動の実施	○	欠かさずに取り組んでいた。今後も取組を続けたい。
	現場の散水清掃の徹底	○	

Ⅶ. 次年度の環境経営目標及び環境経営活動計画

〈次年度の環境経営目標〉

環境経営目標	サイト	単位	基準値		中長期目標			
			2025年度 (2025年2月 ~2026年1月)	2026年度 (2026年2月 ~2027年1月)	2027年度 (2027年2月 ~2028年1月)	2028年度 (2028年2月 ~2029年1月)		
本社+ガス事業本部 現場	本社 + ガス事業本部現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	198,287	197,296 以下 (Δ0.5%)	196,305 以下 (Δ1.0%)	195,313 以下 (Δ1.5%)	
		電気使用量の削減	kWh	72,841	72,477 以下 (Δ0.5%)	72,113 以下 (Δ1.0%)	71,749 以下 (Δ1.5%)	
		ガソリン使用量の削減	L	26,552	26,420 以下 (Δ0.5%)	26,287 以下 (Δ1.0%)	26,154 以下 (Δ1.5%)	
		軽油使用量の削減	L	19,462	19,365 以下 (Δ0.5%)	19,268 以下 (Δ1.0%)	19,171 以下 (Δ1.5%)	
		都市ガス使用量の削減	N m ³	19,738	19,640 以下 (Δ0.5%)	19,541 以下 (Δ1.0%)	19,442 以下 (Δ1.5%)	
2	本社 + ガス事業本部現場	廃棄物排出量の削減	t	11,898	11,898 以下	11,898 以下	11,898 以下	
3	本社	水使用量の削減	m ³	1,978	1,978 以下	1,978 以下	1,978 以下	
4	本社 + ガス事業本部現場	グリーン購入の推進	品目	11	11	11	11	
5	ガス事業本部現場	工事現場での清掃活動の実施	件 (清掃に関する苦情件数)	0	0	0	0	
土木事業部 現場	土木事業部現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	12,783	12,720 以下 (Δ0.5%)	12,656 以下 (Δ1.0%)	12,592 以下 (Δ1.5%)	
		電気使用量の削減	kWh	18,942	18,848 以下 (Δ0.5%)	18,753 以下 (Δ1.0%)	18,658 以下 (Δ1.5%)	
		ガソリン・軽油使用量の削減	L	1,637	1,629 以下 (Δ0.5%)	1,621 以下 (Δ1.0%)	1,613 以下 (Δ1.5%)	
	2	土木事業部現場	①可燃ごみの削減	kg	46	46 以下	46 以下	46 以下
			②廃棄物量のリサイクル率90%以上	%	99.5	90 以上	90 以上	90 以上
3	土木事業部現場	水使用量の削減	m ³	11	11 以下	11 以下	11 以下	
4	土木事業部現場	グリーン購入の推進	品目	11	11	11	11	
5	土木事業部現場	工事現場での清掃活動の実施	件 (清掃に関する苦情件数)	0	0	0	0	

単年度目標

備考

※中長期目標は3年毎に設定している。

※電力の二酸化炭素排出係数は、令和5年度調整後排出係数(九州電力(株)0.417kg-CO₂/kWh・西部ガス(株)0.556kg-CO₂/kWh)を使用した。

※二酸化炭素排出量以外の目標値は現状維持を目標としているため基準値以下を目標値とした。

※化学物質は使用していないので、目標から除外した。

〈次年度の環境経営活動計画〉

次年度の環境経営活動計画は、Ⅴ.環境経営活動計画に記載した計画を継続して取り組んでいく。

Ⅷ. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 並びに違反、訴訟等の有無



- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。
 - ・3月に下記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）
建設リサイクル法	分別解体の実施、特定建設廃棄物の再資源化 下請け業者への説明、発注者への書面交付
廃掃法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、がれき類）
騒音規制法	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事
振動規制法	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事
消防法	火災の予防、危険物の貯蔵
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検

Ⅸ. 代表者による全体評価と見直しの結果

<今年度の取組評価>

- ・環境目標の達成状況は、2事業区分を合わせると全11項目中3項目で目標が達成できなかった。サイト別でみると、本社+ガス事業本部現場では5項目中1項目（水使用量の削減）で目標達成できなかったが、残り4項目は目標達成できた。土木事業部現場では6項目中2項目（二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減のうち可燃ごみの削減）で目標達成できなかったが、残り4項目は目標達成できた。
- ・活動項目の実施状況は、2事業区分を合わせると全54項目中1項目（熱中症対策による空調温度設定の緩和により「空調の温度設定を冷房26℃暖房22℃とし、実行」）を判定不可としたが、他の項目は概ね良く取り組んでいた。

<次年度に向けて>

- ・今後も引き続き新入社員にはエコアクション21の研修を実施し、しっかりと教育していく。
- ・休日の日直、宿直など見えない所での気の緩みがないよう定期的に取り組を注意喚起していく。
- ・自動車のハイブリッド化を推進していく。

X. その他の取組

環境社会検定試験（eco 検定）取得推進

eco 検定合格に向けての学習は多様化・複雑化する環境問題を幅広く体系的に学べ、SDGs を理解するための環境基本知識が学べるといった、社員ひとりひとりの環境意識の底上げとなります。当社では問題集やテキストを支給。合格者には表彰金制度もあり、現在 20 名が取得しています。今後もエコピープルを増やしていきます！



一人一花運動 協賛企業

市民・企業・行政一人ひとりが、公園や歩道、会社、自宅など、福岡市のありとあらゆる場所での花づくりを通じて、人のつながりや心を豊かにし、まちの魅力や価値を高める、花によるまちづくりを目指す取り組みです。当社では本社玄関や現場にプランターや花壇を設置し色とりどりの花でお出迎え。花植え作業はみんなで楽しんでいます♪
スポンサー花壇やスプリングフェスに協賛して周辺地域の花と緑いっぱいのまちづくりに貢献しています！





2023 年度 福岡市グリーンボンドへ投資

福岡市は脱炭素社会の実現に向け、「2040 年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」のチャレンジを掲げ、省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの利用拡大など、様々な取組みを進めています。当社は福岡市とのパートナーシップにより脱炭素社会の実現に向けた取組みを支持していきます。

充当事業（予定）			
	事業区分	対象プロジェクト、充当事業	環境面での便益
1	グリーンビルディング	市有施設の新築、改修 ■福岡市舞鶴庁舎新築 ■公民館の改築事業 他	環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）  ▲福岡市舞鶴庁舎イメージ
2	再生可能エネルギー	市有施設への再生可能エネルギー設備導入 ■新設小学校への太陽光発電設備導入	環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）
3	省エネルギー	市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入 ■本庁舎、区役所等の空調設備更新 ■こども総合相談センターの空調設備更新 ■小・中・高等学校の空調設備、受変電設備更新 他	環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）
4	汚染の防止と管理	下水道施設整備 ■未整備区域の解消 ■合流式下水道の改善	環境負荷の低減（環境汚染物質削減）
5	自然資源・土地利用の持続可能な管理/生物多様性保全	公園整備 ■緑地保全事業 ■緑化推進事業 ■都心の森 1 万本プロジェクト 他	環境負荷の低減（温室効果ガスの吸収）  ▲公園整備イメージ
6	クリーンな輸送	地下鉄事業 ■営業線改良事業 電気自動車の導入、充電設備の設置	環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）  ▲地下鉄事業イメージ
7	持続可能な水資源管理	水道事業 ■配水施設整備	安定的な飲用水の供給
8	気候変動への適応	水害対策事業 ■浸水対策 ■河川水路改良事業 道路整備 ■緊急輸送道路整備 他	浸水災害など発生時の浸水被害の軽減  ▲雨水排水施設の整備イメージ

災害派遣 都市ガス復旧

当社は大規模な災害発生時には、西部ガス(株)さまのもと従業員を派遣し、被災地の都市ガス復旧に貢献しています。

- 1995年 阪神・淡路大震災
- 2004年 新潟県中越地震(新潟県中越大震災)
- 2011年 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)
- 2016年 熊本地震
- 2018年 大阪府北部地震 等々



都市ガス 熊本で復旧完了

西部ガス(福岡市)は30日、熊本県内での都市ガスの復旧作業を完了。被災者が待ち望んでいた自宅での入浴や炊事がほぼ可能な状態になった。電気などに比べると全面復旧に時間を要したものの、当初見込みよりも早い完了は、他の都市ガス各社の応援も得た24時間態勢の作業によって成し遂げられた。

26日、熊本市区の住宅街、道路に掘った深さ約1・3メートルの穴の周りに西部ガスと協力会社の社員6人が集まっていた。地震の激しい揺れで金属製のガス管の接合部が緩み、水が浸入したとされた「掘削は交代で、長さ約80メートルの区画を丸一日かけて調査。水抜き対策を行い、ガスが使える状態に戻した。西部ガス福岡支社供給管理センターの古野英夫さんは「こうした場所が

点在する。一つ一つ、つぶすしかない」と話した。西部ガスは、同県の熊本市や合志市など7市町の約11万戸にガスを供給。16日の本震で約9割の供給を止めた。過去最大の被害だった長崎大本営(約4万2千戸)の2倍倍超える。都市ガス復旧には、多くの手配が必要だ。供給停止後、二次被害を防ぐため各家庭を訪ねて閉栓。次に地区を細分化してガス管を調査し、損傷があれば修繕。異常がなければ順次、供給再開する。復旧に時間を要するのはこのためだ。導管の多くは地中、県内の総延長は1万3700キロに及ぶ。

当初見込みより8日早く

4600人が24時間突貫作業

同社は業団体の日本ガス協会に協力を要請し、22社が最大約2600人を派遣。計約4600人による人海戦術を展開した。阪神大震災後、柔軟性に優れた鋼製ガス管の導入を進めていたことも奏功し、復旧は想定より早く進んだ。しかし、顧客先での閉栓作業は約2割が残っており、作業はなおしばらく続く。

震災は、来年4月の都市ガス小売り自由化にも課題を残した。自由化以降は供給エリアを越えた顧客争奪が予想されるが、非常時の閉栓・開栓作業を誰が担うかはまだ決まっていない。

「今後も災害時に他社から協力を得られるかどうか、十分議論しておく必要がある」。一橋大の山内弘隆教授(公共経済学)は指摘する。

エコアクション21 長年の取組

環境省から感謝状をいただきました。当社はエコアクション21を2010年から取り組み始めて15年目のとなりました。これを励みにこれからもPDCAサイクルを駆使して持続可能な社会への目標達成を目指していきます。



子育て・介護応援宣言企業、健康経営優良法人ブライト500

当社は福岡県子育て応援・介護応援宣言、2025年健康経営優良法人ブライト500に認定されています。多様な働き方の促進、男性の育児休業取得の推進や従業員の心と体の健康への配慮をかせず、いきいき働ける会社を目指しています。



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門
ブライト500

ISO9001・COHSMS

当社は品質マネジメントシステム ISO9001
安全衛生マネジメントシステム COHSMS を
認証登録。ISO9001 では品質保証と顧客重視
による品質方針を定め、品質マネジメントの有
効性と継続的な改善を実施していきます。

また、COHSMS では組織的・体系的に行う安
全衛生管理のシステムを構築し、確実にかつ効
率的に災害要因の除去・低減、健康増進と快適
職場の形成と促進、企業の安全衛生水準の向上
を図っています。



ペットボトルキャップ回収活動

当社はペットボトルキャップ回収活動へ参加しています。回収したキャップの売却益が団
体に寄付され、途上国の子どもワクチン支援活動に役立てられます。

寄付団体：認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

